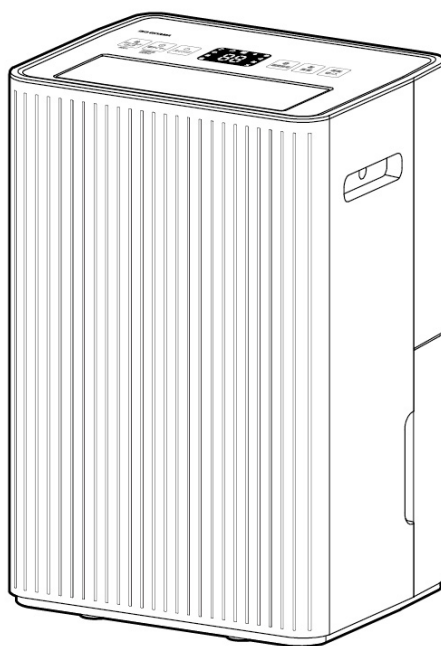


取扱説明書(WEB)

衣類乾燥除湿機

型番:AJ-C48A[室内・家庭用]



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- ・ 一般家庭用以外でご使用にならないでください。
無償保証の対象外になることがあります。
- ・ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ ご使用前に「[安全上の注意 P7](#)」を必ずお読みください。
- ・ WEB マニュアルについては、「[WEB マニュアルの使いかた P2](#)」をご確認ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。

- ・Microsoft Edge ブラウザ(最新版)
- ・Google Chrome ブラウザ(最新版)

—WEB マニュアルについて

■スマートフォン



■パソコン



① メニュー一覧/検索 切替ボタン(スマートフォンのみ)

☰ をタップするとメニュー一覧/検索画面が表示されます。

✕ を押すと元の画面に戻ります。

② 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

③ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

④ 関連ページリンク

選択すると、WEB サイトや WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

⑤ メニュー

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

⑥ メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

⑦ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

一 検索について

■スマートフォン



■パソコン



⑧ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑨ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。
- ・ Microsoft Edge は Microsoft Corporation の商標です。
- ・ Google Chrome は Google LLC の商標です。

もくじ

ご使用の前に.	7
安全上の注意.	7
除湿の仕組み.	12
設置場所.	14
各部の名称.	15
使いかた.	18
基本的な使いかた.	18
その他の機能.	23
衣類乾燥について.	25
排水のしかた.	26
保護装置について.	30
お手入れ.	31
お手入れ.	31
本体.	32
水タンク・水タンクふた.	33
吸気口カバー.	33
こんなときは.	34
故障かな？と思ったら.	34
こんな表示が出たときは.	38
その他の情報.	39

廃棄について.....	39
仕様.....	40
保証とアフターサービス.....	41
保証規定.....	42
お問い合わせ.....	43

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P7](#)

→ [注意 P10](#)

図記号の意味

		
注意を促す記号です。	禁止を示す記号です。	必ず行うことを示す記号です。

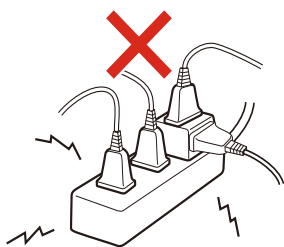


誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

	- 電源プラグのほこりは定期的に取り ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 - 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。
 プラグを抜く	お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電・けがの原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電・やけど・けがの原因になります。
	- 電源コードを束ねて通電しない 過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。 - 交流 100V 以外では使わない 火災・感電の原因になります。 - 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない ショートによる火災・感電の原因になります。 電源コードが破損したときは、修理専用コール P43 (☎ 電話をかける) へお問い合わせください。 - 電源コードを傷付けない - 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない 傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、はさみ込むなどしないでください。

- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを持って引っ張ると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- ・コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。



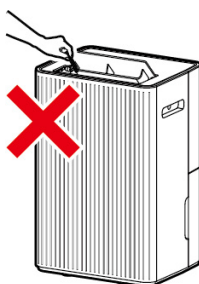
- ・乳幼児に電源プラグを触れさせない
感電・けがの原因になります。



- ・異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
火災・感電・発煙のおそれがあります。
〔異常の例〕
 - 異常な音やにおいがする
 - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 運転中時々止まる
 - 触れるとビリビリ電気を感じる
 ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店または[アイリスコール P43](#) (☎ [電話をかける](#))へお問い合わせください。

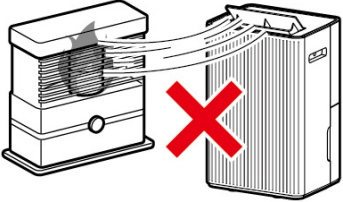


- ・吹き出し口や吸気口などのすき間に、指や金属などの異物を入れない
感電・けがの原因になります。



分解禁止

- ・分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。
修理については、お買い上げの販売店または[修理専用コール P43](#) (☎ [電話をかける](#)) にご相談ください。

	・ スプレーを近くで使用しない(殺虫剤・整髪料・潤滑油など)引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)、火の気のあるもの(たばこ・線香など)、可燃性のもののそばで使わない  ・ 油煙の舞う場所や近くで使用しない 発火・火災の原因になります。
	・ 屋外で使用しない 故障してショートや火災の原因になります。 ・ 押し入れや家具のすき間など、せまい場所で使用しない 過熱して火災の原因になります。
 水ぬれ禁止	・ 水まわりや風呂場など水のかかりやすい場所では絶対に使用しない ・ 水につけたり、水をかけたりしない 火災・感電の原因になります。
	・ 風の流れをさえぎるようなものの周囲で使用しない ・ 吹き出し口・吸気口を布や紙、ビニール袋でおおったりふさいだりして運転しない 過熱して火災の原因になります。 
	・ 風をストーブなどの燃焼器具に向けない 不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。 



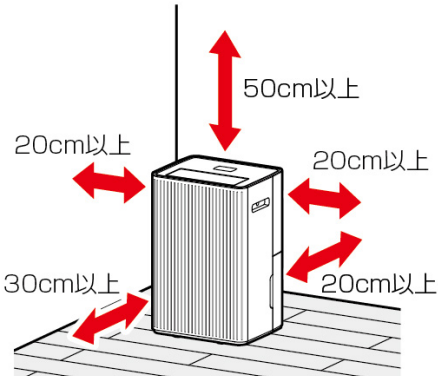
誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生する内容を示しています。

	加湿器などの蒸気が当たる場所で使わない 感電・故障の原因になります。
	- 水タンク・水タンクふたを正しく取り付ける - 水タンクふたは必ず取り付けて使用する 水もれや周囲の汚損の原因になります。
	運転停止直後に、水タンクを取り外さない 本体の冷却器に残っている水が落ちてきて、水もれすることがあります
	観葉植物などに風を直接当てない 植物がしおれることがあります。
	周囲の壁などが汚れないように注意する 同じ場所で長期間使用する場合は、周囲の壁の汚れが目立つ前に、定期的に掃除をしてください。
	- 除湿した水を飲料用・飼育用・栽培用に使用しない 健康を害したり、害を及ぼしたりするおそれがあります。 - 水タンクに水をためたまま長期間放置しない 異臭や周囲の空気汚れの原因になります。
	水タンクのフロートを外さない 運転できなくなったり、水もれの原因になります。

移動するときは

	- 水タンクに水が入ったまま移動しない 水タンク・本体内部に水が入った状態で移動すると、水がもれて周囲の水ぬれの原因になります。 移動するときは、水タンク・本体内部の水を捨ててください。 - 転倒させない 火災・水もれの原因になります。 転倒して水がもれたときは、十分に乾燥させ、安全を確かめた上で使用してください。 万一電源が入らない場合は、アイリスコール P43 (☎ 電話をかける) にご連絡ください。 - 引きずって移動しない 傷付きやすい床や、毛足の長いじゅうたんの上を移動するときは、本体をしっかりとつかんで持ち上げ、移動してください。
	運転を停止し、電源プラグを抜いて、移動する

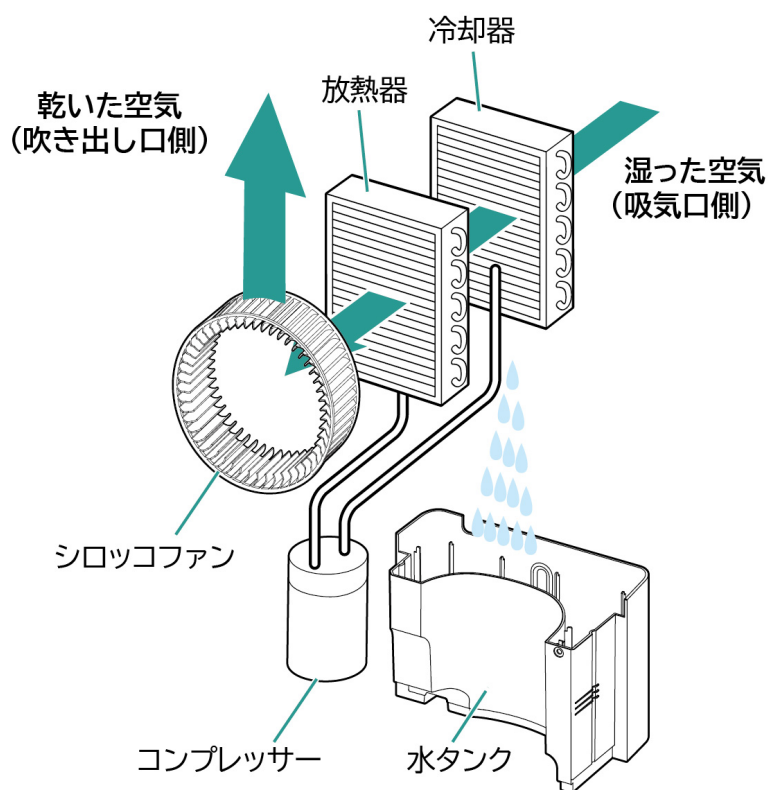
設置について

	・ 風が、壁・家具・カーテン・電気製品などに直接当たらないところに設置する ・ 設置の際は、壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を空ける 壁・家具・カーテンなどの汚損の原因になります。 吹き出し口は、家具・壁・カーテン・電気製品などの方向へ向けないでください。  ・ 水平で安定した床の上で使用する 毛足の長いカーペットやふとんなどの上・不安定な床の上・台の上などに設置すると、転倒してけがをしたり水もれしたりするおそれがあります。
	・ 暖房機器・ホットカーペットなど電気製品の上に設置しない 転倒すると水がこぼれ、火災や電気製品の故障の原因になります。
	・ 上に乗ったり、腰かけたり、寄りかかったりしない ・ 子どもなど不慣れな方だけで使わせない ・ 乳幼児に触れさせない 転倒によるけがや製品の故障、火災の原因になります。
 プラグを抜く	・ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・ 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 絶縁低下により、火災・感電の原因になります。
	・ 食品・医薬品・美術品・学術資料の保存など、業務・特殊用途に使用しない 本製品は家庭用として設計されています。業務・特殊用途に使用すると、保存品の劣化の原因になります。
	・ 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない 本体内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康を害するおそれがあります。 殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転してください。

除湿の仕組み

本製品はコンプレッサー式除湿機の機構を利用しています。

- ① 吸い込んだ空気を冷却器で冷やします。
- ② 空気中の水分は冷却器表面で結露し、水滴となってタンクにたまります。
- ③ 冷却器で奪った熱は、放熱器で除湿された空気に戻されます。



室温が上がります

本製品は冷房機器ではありません。

閉め切った部屋で使用すると、室温が1～5℃上昇します。

また、太陽からの放射熱や他の家電製品から出る熱があると、より室温が上昇する場合があります。

こちらのWEB サイトでも確認できます。

<https://www.irisohyama.co.jp/dehumidifier/choose/>

—除湿量について

運転可能な温度は 5～35℃です。

室内の温度や湿度によっては、除湿しなかったり、除湿量が減少することがあります。

室温が低いとき

- ・ 本製品は室温 15～35℃で効率よく除湿できるように設計してあります。室温が低いときには、吸気と冷却器の温度差が小さく結露しにくいため、除湿量も減少します。

湿度が低いとき

- ・ 部屋の湿度が低いときには、空気中の水分量が少ないため、除湿量も減少します。

設定湿度に達したとき

- ・ 目標湿度を設定して運転しているときは、設定した湿度に達すると除湿が停止するため、除湿量は減少します。

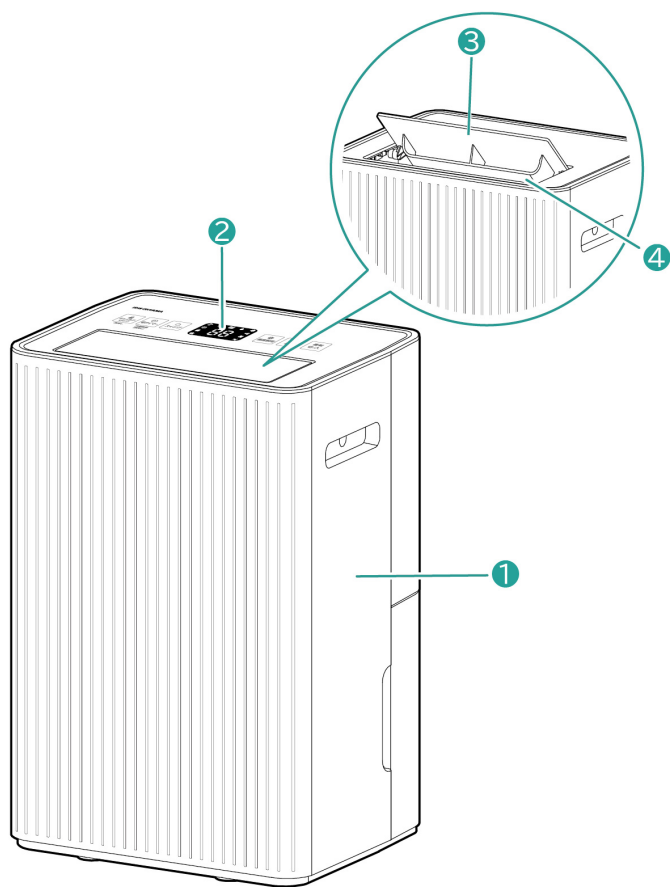
設置場所

—設置についての注意

- 直射日光や暖房機器の温風が当たらないところに設置してください。
変形・変色したり、誤動作したりすることがあります。
- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。
- できるだけ閉め切った部屋で使用してください。
運転中に窓や扉を開閉して室内の湿度が大きくなると、除湿量が低下する場合があります。

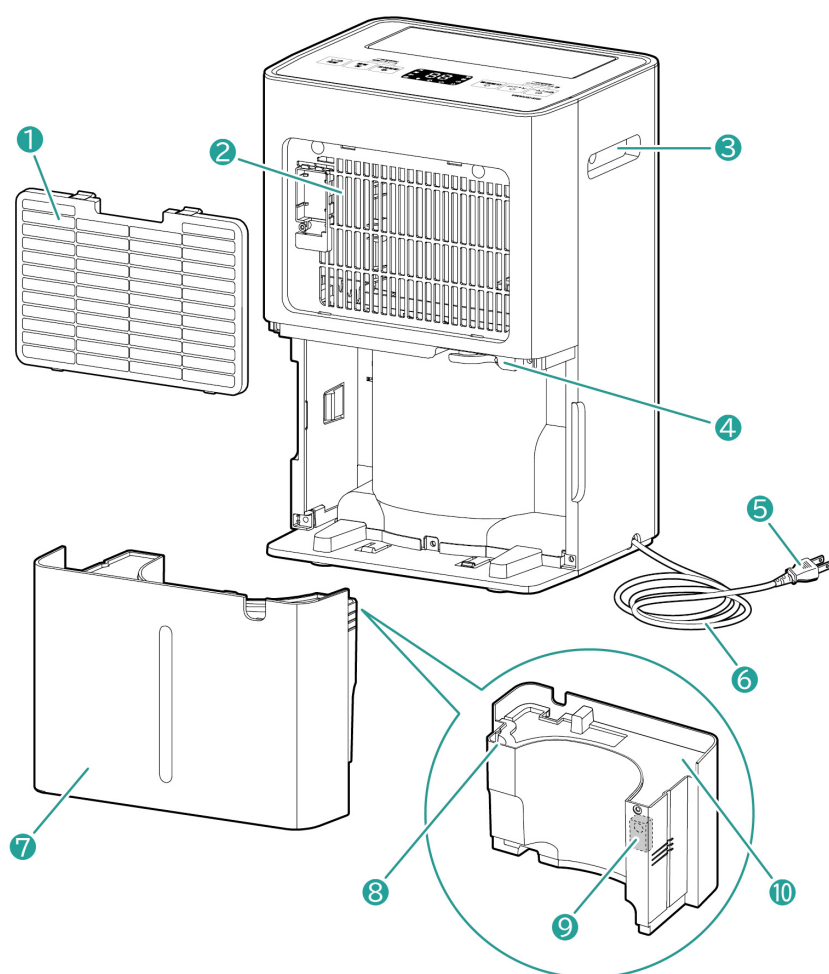
各部の名称

— 前面



- ① 本体
- ② 操作パネル
- ③ ルーバー
- ④ 吹き出し口

— 背面



- ①吸気口カバー
- ②吸気口
- ③取っ手
- ④連続排水ホース用穴キャップ
- ⑤電源プラグ
- ⑥電源コード
- ⑦水タンク
- ⑧水タンク排水口
- ⑨フロート
- ⑩水タンクふた

一 操作パネル



①電源 切／入ボタン・ランプ

②風量ボタン

風量を切り替えます。

③湿度設定ボタン

除湿の目標湿度を設定します。(→[湿度設定 P19](#))

④表示部

⑤スイングボタン

運転中にボタンを押すとルーバーが上下に動きます。(→[スイング P23](#))

⑥切タイマー／内部乾燥ボタン(→[内部乾燥 P20](#))

切タイマーの時間を切り替えます。

運転停止中にボタンを長押しすると、内部乾燥運転を開始します。

⑦チャイルドロック

ボタンを長押しするとチャイルドロックを設定します。(→[チャイルドロック P24](#))

使いかた

基本的な使いかた

→[霜取りランプが点灯したら P22](#)

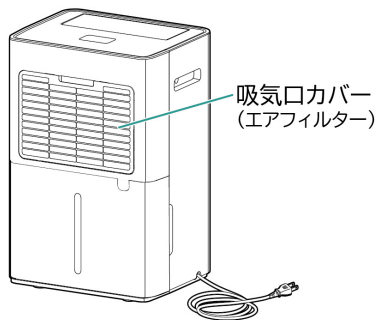
→[満水ランプが点灯したら P22](#)

■使いかた

- ・ 運転開始時や風量切り替え時など、運転中にコンプレッサーの音が大きくなる場合があります。

準備をする

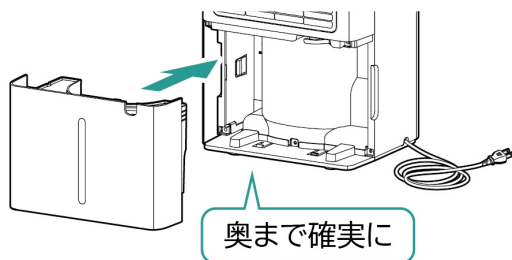
- ① 吸気口カバー(エアフィルター)が取り付けられているか確認する



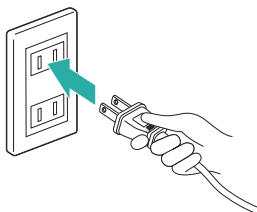
- ② 水タンクを本体にセットする

水タンクのふたと排水口をしっかりと閉め、静かに奥まで確実に取り付ける
(水もれや運転できないおそれがあります)

運転できないときは一度取り出し、静かに取り付けなおしてください。



- ③ 電源プラグをコンセントに差し込む



電源を入れる

2

運転
切/入

- を押すと運転が始まります。
- 電源プラグを抜かずにおく、前回使用した設定で運転を開始します。

風量・湿度を設定する

—風量設定

風量

を押すたびに弱←→強と切り替わります。



風量(弱)ランプ

3

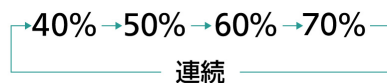


風量(強)ランプ

—湿度設定

湿度設定

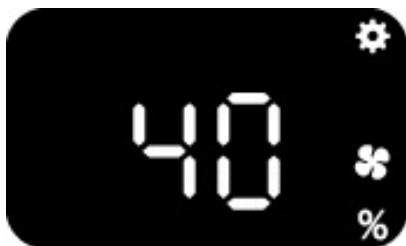
を押すたびに目標湿度が切り替わります。





連続ランプ

※設定湿度になると、送風運転のみになります。



湿度設定ランプ

- ・ 連続モード:湿度が 20%以下でも送風し続けます。
- ・ 目標湿度に達すると送風運転になります。

においや異音について

- ・ 電源を起動後、本製品を使い始めのときは新品特有の初期臭がすることがあります。不具合ではなく、においは徐々に軽減しますので様子みてください。
- ・ 水が流れるような音、ピチャピチャというような音は、除湿した空気中の水分が本体から水タンクに流れる音で、異常ではありません。
- ・ ゴロゴロというような音、ブーンという音は、コンプレッサーの動作音です。異常ではありません。
- ・ 吸気口カバー(エアフィルター)にほこりがたまると、空気を吸い込む音が大きくなります。掃除機などでお手入れをしてください。

—運転を停止するには

もう一度  を押す

- ・ すべてのランプが消灯します。

—内部乾燥

運転停止中に  を長押しすると、内部乾燥運転を開始します。

- ・ 内部乾燥運転中は切タイマーランプが点滅します。

- ・ 内部乾燥運転は 1 時間送風運転後に停止します。



- ・ 途中で停止したいときは、を押してください。

内部乾燥運転は、以下の状況で行うと効果的です。

- ・ 運転停止後や長期間使用しない場合：
内部を乾燥させて、においの原因となるカビや雑菌の繁殖をおさえます。
一度付いたカビや菌はとれません。

■お知らせランプ

—霜取りランプが点灯したら

お部屋の温度が約 15℃以下になると、本体内部に霜が付くことがあるため、自動的に霜取り(送風運転)を行います。

- ・ 約 10～ 30 分間の霜取り運転後に除湿運転を再開します。
- ・ 霜取り中はランプが点灯します。



霜取りランプ

—満水ランプが点灯したら

水タンクが満水になると、ブザーが鳴って満水ランプが点灯し、運転が停止します。

- ・ 水タンクを取り出して排水し、再度本体にセットしてください。停止前の状態で運転を再開します。(→[排水のしかた P26](#))
- ・ 水タンクが正しくセットされないときも満水ランプが点灯します。



満水ランプ

その他の機能

■切タイマー

設定時間が経過すると、運転を停止します。

- ・  切タイマー を押すたびに時間が変わります。
→ 1 → 2 → . . . → 7 → 8h
消灯(タイマー解除)



タイマーランプ

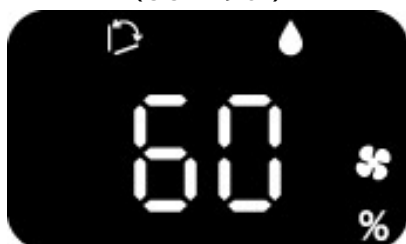
■スイング

運転中に  スイング を押すとルーバーが上下に動きます。

- ・ お好みの角度でスイングを止めることができます。
→ 上方スイング → 広範囲スイング
スイング停止 ←



上方スイングランプ
(55°~90°)



広範囲スイングランプ
(30°~90°)

■チャイルドロック



を長押しするとチャイルドロックを設定します。



チャイルドロックランプ

- ・チャイルドロック中は電源オフのみ操作できます。
一旦運転を停止させると、チャイルドロックを解除しないと再度運転できません。

■切り忘れ防止機能

何も操作をしないで 12 時間経過すると、自動で電源が切れ、運転を停止します。



と

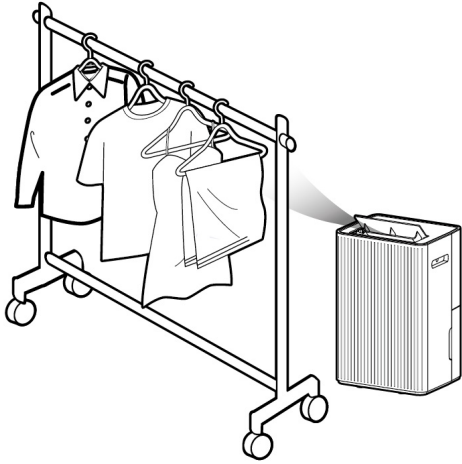


を同時に 3 秒長押しで切り忘れ防止機能がキャンセルされます。

衣類乾燥について

衣類乾燥の上手な使いかた

- ・ 除湿された風が洗濯物に当たるように、ルーバーで風向きを調節します。



洗濯物を早く乾かすコツ

- ・ 室温を上げる
- ・ お部屋の湿度を下げる
- ・ 洗濯物に風をよく当てる

なるべく小さなお部屋で、閉め切って運転すると効果的です。

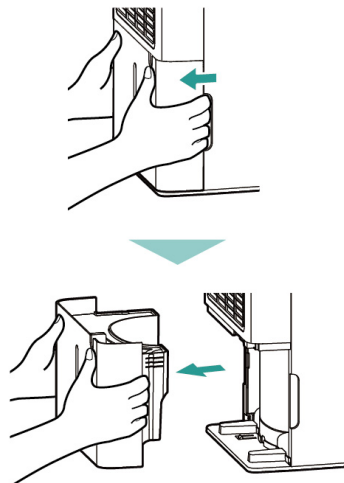
排水のしかた

- ・ 水タンクを持ち運ぶときは、水タンクを両手でしっかり持ってください。

水タンクを取り出す

水タンクを両手で持ち、たまった水をこぼさないようにゆっくりと引き出してください。

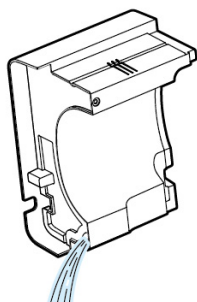
1



水を捨てる

水タンク排水口を開けて排水してください。

2

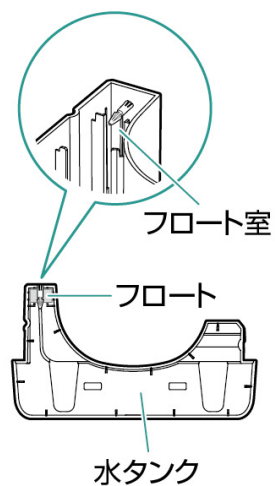


注意

- ・ フロート室に異物やごみが入っていないことを確認してください。満水時の自動停止が働かなくなります。
- ・ フロートは絶対に外さないでください。除湿ができなくなります。

■フロートは、水タンクふたを開けて確認してください。

- ・ 水タンクふたはしっかり取り付けてください。(水もれの原因)



水タンクを本体にセットする



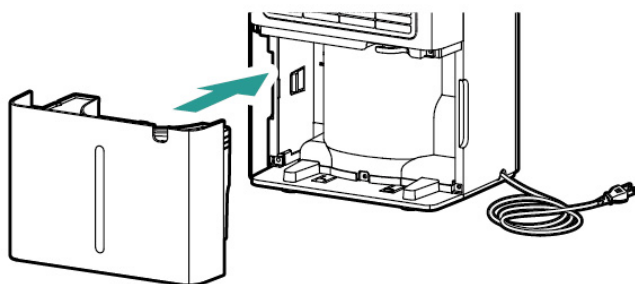
注意

- ・水タンクを正しくセットしないと運転しません。

水タンクのふたと排水口をしっかりと閉め、静かに奥まで確実に取り付けてください。

(水もれや運転できないおそれがあります)

運転できないときは一度取り出し、静かに取り付けなおしてください。



■連続排水

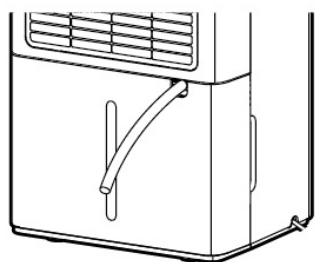
ホースを接続して排水すると、水タンクの容量を気にすることなく連続で除湿できます。

—ホースの接続

近くに排水できる場所があれば、連続排水ができます。

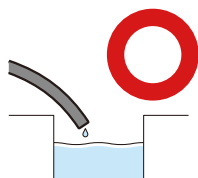
市販の排水ホース(内径 $\phi 11\text{mm}$)を本体背面の連続排水穴から本体内部の排水口にしっかりと差し込んでください。

連続排水の時も水タンクを取り付けてください。

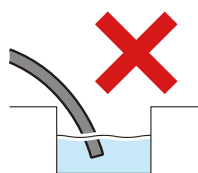


- ・ホースのもう一方は、確実に排水できる場所に向けてください。
※ ホースは次のように正しく設置してください。誤って設置すると排水できなくなり、水もれの原因になります。

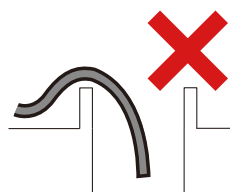
正しい設置例



誤った設置例



ホースが水につかっている



ホースが除湿水排水口
(連続排水ホース用穴)
より高くなっている



ホースが段差を
乗り越えている

保護装置について

除湿機構を保護するために、保護装置がはたらくことがあります。

■異常時の除湿停止

除湿機構に異常があると、運転を停止します。

- ・ 3 分以上経たないうちに  を押しても、運転は再開しません。
- ・ 3 分以上経ち、かつ故障がない場合は、  を押すと、運転を再開します。

お手入れ

お手入れ



- ・ お手入れは、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・ 電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。
- ・ 本体は水洗いしないでください。

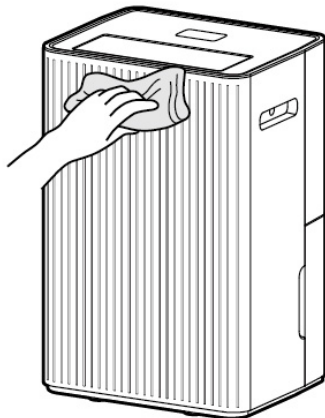
酸性・アルカリ性の洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤などは使用しないでください。

- ・ 1 か月に 1 回程度
[本体 P32](#)
[水タンク・水タンクふた P33](#)
[吸気口カバー P33](#)

本体

お手入れ頻度:1 か月に 1 回程度

水またはぬるま湯(40℃以下)を含ませたやわらかい布をよく絞って、汚れを拭き取る



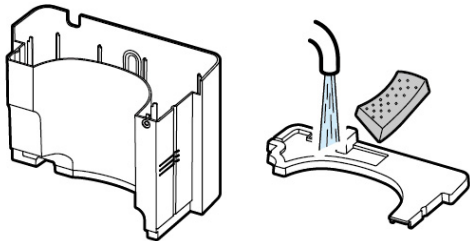
※汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、かたく絞った布などで洗剤分を拭き取ってください。

水タンク・水タンクふた

お手入れ頻度：1か月に1回程度

水タンクふたを外して水洗いし、水気を拭き取って、よく乾かす

- ・ フロート室内にごみや異物があるときは洗い流してください。



※汚れが落ちにくいときは、中性洗剤で洗い、よくすすいでください。

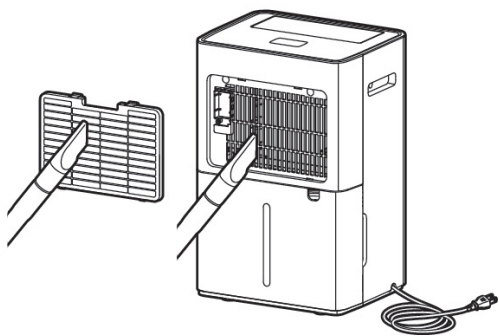
※フロートを外さないでください。

吸気口カバー

お手入れ頻度：1か月に1回程度

吸気口カバー(エアフィルター)と本体の吸気口を掃除機で掃除する

- ・ 吸気口カバー(エアフィルター)にほこりやごみがたまると、風量が低下し、除湿量が低下します。
- ・ ブラシ付きノズルは使用しないでください。エアフィルターを破損することがあります。



こんなときは

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に、以下の項目を確認してください。

お問い合わせについては、「[除湿機に関するよくあるお問い合わせ](#)」でもご確認いただけます。

—電源が入らない

→電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

—運転しない

→水タンクが満水になっている

水タンクの水を捨ててください。(→[排水のしかた P26](#))

→水タンクが正しくセットされていない

水タンクを本体に正しくセットしてください。(→[排水のしかた P26](#))

→水タンク内のフロートが動かない

フロート室のごみや異物を取り除いて、フロートが動くようにしてください。(→[排水のしかた P26](#))

—運転が止まった(満水ランプが点灯)

→水タンクが満水になった

水タンクの水を捨ててください。(→[排水のしかた P26](#))

—除湿しない(霜取りランプが点灯)

→自動霜取りが働いている

自動霜取りが終了すると、除湿運転を再開します。

—除湿量が少ない

→湿度が低い

湿度が低いと、除湿量は少なくなります。異常ではありません。

→室温が低い

コンプレッサー式除湿機の特徴で、室温が低いときは除湿量が少なくなります。異常ではありません。。

—除湿運転中に室温が上がる

→閉め切った部屋で除湿運転すると、放熱のため室温が上がる

除湿の仕組みによるもので異常ではありません(→[除湿の仕組み P12](#))

—床がぬれる

→本体が傾いている

水平で安定した場所に設置してください。

→水タンクに水が入ったまま移動した

移動するときは、水タンクの水を捨ててください。

→運転停止後すぐに水タンクを取り外した

本体内に残っている水滴が落ちきるまで待ってから、水タンクを取り外してください。

→水タンクふたが正しく取り付けられていない

水タンクふたを正しく取り付けてください。

—本体からにおいがする

→使い始めは、製品特有のにおいがする

異常ではありません。

→においの元になるものをお部屋に置いている

お部屋に次のようなにおいの元になるものがあると、本体に吸い込んだ後、におい成分を再放出することがあります。

- ・ 新しい家具、壁紙
- ・ ヘアスプレー、整髪料、化粧品、薬品

また、お部屋のにおい(生活臭)が本体に少しずつ蓄積し、運転時に吹き出し口からにおいを感じる場合があります。

お部屋の換気を十分に行ってください。

—湿度が下がらない

→部屋が広すぎる

適切な広さの部屋で使用してください。(→[仕様 P40](#))

→窓や扉、ドアの開閉が多い

→窓や扉、ドアが開いている

窓や扉、ドアの開閉を控えてください。

窓や扉、ドアが開いていたら閉めてください。

→石油ストーブなど、水蒸気の出る暖房機器を使用している

水蒸気の出る暖房機器は、できるだけ使用しないでください。

—振動する

→不安定な場所に設置してある

水平で安定した場所に設置してください。(→[設置について P11](#))

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P43](#)(☎ [電話をかける](#))へお問い合わせください。



ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

長年ご使用の衣類乾燥除湿機の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか

- ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする
- ・ 本体に触れるとピリピリ電気を感じる
- ・ 水もれする
- ・ 運転中に異常な音がする
- ・ 電源コードが傷付いている
- ・ その他異常や故障がある



ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店または[アイリスコール P43](#)（ [電話をかける](#)）に点検をご依頼ください。

こんな表示が出たときは

エラーコード	原因と対処
	水タンクが満水になっています 水タンクを取り出して排水し、再度本体にセットしてください。停止前の状態で運転を再開します。(→排水のしかた P26) 水タンク正しくセットされないときも満水ランプ点灯します。
E0 EF E1	故障のおそれがあります 使用を中止して、お買い上げの販売店またはアイリスコール P43(☎ 電話をかける)へお問い合わせください。
CL CH	適切な室温で使用できていません 適切な室温でご使用ください。(→仕様 P40) 室温が 0℃以下か 40℃以上になっている運転可能な温度は 5～35℃です。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P43](#)(☎ [電話をかける](#))へお問い合わせください。



・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

・ [お問い合わせ P43](#)

その他の情報

廃棄について

製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

■冷媒に関する注意



この家庭用除湿機には CO₂(温暖化ガス)117kg に相当するフロン類(R-134a)が封入されています。地球温暖化防止のため、廃棄にあたっては冷媒フロン類の適切な処理が必要です。お住まいの地域の方法にしたがい廃棄してください。ご不明な点は、お住まいの地方自治体の窓口を確認をお願いいたします。

仕様

定格電圧		AC100V	
定格周波数		50Hz	60Hz
定格消費電力		140W	170W
定格除湿能力※1		3.7L / 日	4.8L / 日
除湿可能面積 の目安※2	木造和室	8m ² (4.5 畳)	10m ² (6 畳)
	プレハブ洋室	12m ² (7 畳)	15m ² (9 畳)
	鉄筋コンクリート	15m ² (9 畳)	20m ² (12 畳)
使用可能温度範囲		5 ~ 35℃	
冷媒		R134a(70g)	
水タンク容量		約 1.8L	
製品寸法 (電源コードを除く)		幅 244×奥行 191×高さ 368mm	
製品質量		約 7.3kg	
電源コード長さ		約 1.5m	

※1 室温 27℃、湿度 60%を維持し続けたときの、1 日(24 時間)あたりの除湿量です。

※2 JEMA((一社)日本電機工業会)規格に基づいた数値です。

※気温と湿度で除湿量が変動します。

※適用床面積は、保証値ではありません。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

—保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。
保証書は「かんたん操作ガイド」の裏面にあります。

—保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。
ただし、一般家庭以外でのご使用など、保証期間内においても無償保証の対象外になる場合があります。
詳しくは[保証規定 P42](#) を参照してください。

—保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[修理専用コール P43](#) (☎ [電話をかける](#))にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

—補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6 年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

—アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール P43](#) (☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
2. 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示の上、修理をご依頼ください。
3. 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
4. ご転居や贈答品などで保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、[アイリスコール P43](#) (☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。
5. 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 保証書の提示がない場合
 - ⑦ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・購入履歴の分かるもの・メモのご用意をお願いします。

製品に関するお問い合わせ

アイリスコール:[0120-311-564](tel:0120-311-564)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関するお問い合わせ

修理専用コール:[0800-170-7070](tel:0800-170-7070)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

お客様サポートはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

専用パーツはこちら



<https://www.irisplaza.co.jp/index.php?KB=KAISO&CID=5457>

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>